令和７年度「人権教育研究推進事業」研究指定校事業

都道府県・指定都市名（　栃木県　）

１．基本情報

研究指定校名	那須町立高久小学校

○これまでの研究指定等の状況

令和６年度「人権教育研究推進事業」研究指定校

○学級数

７学級（うち特別支援学級：１学級）

○児童生徒数

８５人（令和８年１月８日現在）

○URL

https://takaku.edumap.jp

２．調査研究のテーマ、概要、指定理由

調査研究のテーマ	自分も相手も大切にする児童の育成　～互いに認め合い、高め合える人間関係づくり・授業づくりを通して～

○調査研究のテーマを設定した目的

本県が定める栃木県人権教育基本方針に基づき、地域の実態を踏まえ、人権尊重の精神の涵養を育む教育の充実を目的として、上記調査研究のテーマを設定した。詳細については、以下のとおりである。

那須町は、例年不登校児童生徒の割合が高く、不登校とはいかないまでも登校を渋る児童生徒も見られる。本校も例外ではなく、人間関係をうまく築けず、学校生活に不安を抱えている児童生徒も多い。そこで町独自の教科である「NAiSU タイム」の三本柱の一つ、「人間関係プログラム」を活用し、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを計画的に行っている。それらの活動を通して、安心して自分らしさを発揮したり他者との関係をよりよく築いたりすることのできる児童生徒の育成を目指している。また、昨年度から人権教育を学校課題に位置付け、全校体制で互いのよさや違いを認め合えるよう人権教育の推進に取り組んできた。

本校の児童は、明るく素直で学習に真面目に取り組むことができる児童が多い。しかし、全国学力・学習状況調査やとちぎっ子学習状況調査の質問紙調査の結果を見ると、「自分には、よいところがある。」の項目に対して、学年が上がるにつれて肯定的な回答をしている児童が減少する傾向にある。昨年度、一年間の研究の取組を通してやや改善が見られたが、依然として自己肯定感や自尊感情が低い児童が多い。また、本町では外国人訪問客や外国人技能実習生が増加傾向にあるという実態を踏まえ、外国人との共生やよりよい人間関係づくりを考えることが必要である。

これらのことから、昨年度に引き続き、自他が認められる安全・安心感のある人間関係づくりや環境づくり、他国の文化や価値観の尊重等について学びながら互いに高め合える授業づくりを行い、自分も相手も大切にすることのできる児童の育成を目指していきたい。

〇調査研究の概要

①自分も相手も大切にし、互いに認め合い、高め合える授業づくり
②自分も相手も大切にし、互いに認め合い、高め合える人間関係づくり
③自分も相手も大切にし、互いに認め合い、高め合える環境づくり

〇指定理由

那須町は、栃木県の北東部に位置し、豊かな自然環境や様々な観光施設を有し、ロイヤルリゾート地として県内外に知られている。近年は海外からの観光客が急増するとともに、町内の外国人登録者数の割合も増加傾向にある。

令和６年度指定校である那須町立高久小学校は、町内にある小学校の中で最も歴史が古く、学校創立 150 周年を迎えた学校である。児童が主体となって作り上げた記念式典は、地元紙にも大きく取り上げられた。

このように、「観光地としての進化」と「歴史と伝統」という新旧入り混じる那須町に住む児童生徒にとって、外国人との関わりは避けて通れないことであると同時に、「外国人」の人権に対する知的理解を深め、共に支え合おうとする実践行動を身に付ける好機でもある。

また、同じ研究調査テーマを設定しつつも、令和６年度指定校としての成果を生かし、課題として残ったことについて新たな切り口で研究を推進し、課題解決に向けて前進することが重要であると考える。

以上の理由により、令和７年度の研究指定校には本校が適切であると考える。２年目の研究成果は町内外だけにとどまらず、県内外に向けても発信し、他地区等の人権教育推進に資するようにしていきたい。

３．取り組んだ人権課題

※　該当するものに〇印。複数選択可。うち、最も主要な人権課題１つに◎印。
※　下線部は、令和７年度事業における重点課題。

① 子供	〇
② 女性	〇
③ 高齢者	〇
④ 障害者	〇
⑤ 同和問題	〇
⑥ アイヌの人々	〇
⑦ 外国人	◎
⑧−１ HIV 感染者等	
⑧−２ ハンセン病患者等	
⑨ 刑を終えて出所した人	
⑩ 犯罪被害者等	
⑪ インターネットによる人権侵害	〇
⑫ 北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬ 性的指向、性自認	〇
⑭ その他（災害に伴う人権問題）	〇

４．調査研究の内容等

〇調査研究の内容

本調査研究を充実したものとするためには、まず人権教育指導者の資質向上が不可欠である。そこで、県教委が設置する運営協議会委員や各市町教育委員会人権教育担当者等を対象として、参加体験型の手法について学ぶ研修である「人権教育担当者スキルアップ研修」を開催した。

また、保護者や地域住民が人権教育に対する理解を深め、人権に関する社会の動きに目を向けたり、積極的に関連事業に参加したりできるよう啓発資料を作成・配布し、地域と学校が連携した人権教育の推進を図った。資料の内容は、「子どもの人権」に関するものを中心に掲載し、保護者や地域住民等が人権課題に関心を深めるきっかけにするのと同時に、重点課題である「外国人」の人権に触れるようにした。

那須町においては、昨年度の研究により向上が図られた教職員の人権意識や指導力を踏まえ、教育活動全体を通じて人権教育をより推進した。主な具体的内容は以下のとおりである。

ア　自分も相手も大切にし、互いに認め合い、高め合える授業づくり
- ㋐ 人権に関わる様々な問題（外国人、高齢者、部落差別【同和問題】等）や人権一般について取り上げた直接的指導に関する授業の実施（生命【いのち】の安全教育含む）
- ㋑ 間接的指導における「育てたい資質・能力につながる力」に対する教師の意識化の徹底
- ㋒ 未来志向の実践的展開（多様性の尊重等外国人の人権問題解決に資する内容との関連、歴史上差別されてきた人々に対する共感的理解及び明るい展望をもたせる工夫）
- ㋓ 伝え合い、話合い等の学び合いを生かした多様な意見や考えを認め合う授業づくり（自己肯定感を高める工夫）
- ㋔ 一人一台端末を活用したデジタル学習教材「人権の窓」の授業実践
- ㋕ 教科等横断的展開（外国語活動や外国語科、道徳教育、総合的な学習の時間等を中心とした外国人、高齢者、障害者の人権に関わる活動の充実）
- ㋖ 人権擁護委員等による人権教育学習
- ㋗ 人権感覚を養う授業における「人権マーク」の活用と推進

イ　自分も相手も大切にし、互いに認め合い、高め合える人間関係づくり
- ㋐ 基底的指導の充実
- ㋑ 人権教育の視点に立った学級経営
- ㋒ 人間関係プログラムを活用したコミュニケーションスキル向上への取組
- ㋓ 児童会主催による異学年交流の充実
- ㋔ 外国人、高齢者、障害者とのふれあい活動
- ㋕ 学級活動を中心とした特別活動の工夫と充実（係活動や当番活動、委員会活動の充実等）

ウ　自分も相手も大切にし、互いに認め合い、高め合える環境づくり
- ㋐ 人権教育に重点を置いたカリキュラム・マネジメントの実施
- ㋑ 人権コーナーの工夫と充実等、望ましい環境整備
- ㋒ 教職員の人権感覚向上につながる研修の実施
- ㋓ 人権週間や授業参観等の学校行事、学校・学年だよりや人権だより及びホームページ等を通した保護者への啓発



１行・１マス空ける表示


全校道徳

○実施方法

ア　授業研究部
- ㋐　人権教育年間計画の見直し
  - ・人権教育学年別年間指導計画の見直し

(ｲ)　人権尊重の視点に立った授業づくり
・掲示物や教材を活用したユニバーサルデザイン化
・ペア、グループ学習の充実、全校道徳の実施等、学び合いの工夫

(ｳ)　研究授業等の実践
・外国語科、外国語活動（全学年）
･･･外国の文化や考え方を学ぶことを目的としたＡＬＴとの交流会


ＡＬＴとの交流会

・NAiSU タイム（１学年）
･･･「気持ちのあてっこゲームをしよう」におけるソーシャルスキルトレーニングを取り入れた授業（間接的指導）


直接的指導（道徳）

・道徳（５学年）
･･･「世界に目を向けて　ユニセフ親善大使　黒柳徹子」（ＡＬＴとの連携を生かした直接的指導）
・算数（６学年）
･･･「分数のかけ算・わり算」における単元内自由進度学習（間接的指導）

イ　環境整備部
(ｱ) 環境づくり
・多目的スペースにおける人権コーナーの充実（人権チャレンジへの取組、人権に関する本の紹介等）
・世界の料理を楽しむ「ワールドメニュー週間」



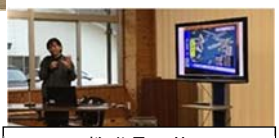
ワールドメニュー
（フランス料理）

(ｲ) 人間関係づくり
・人間関係プログラムにおける構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの実施
・異学年や地域の人々との交流活動


ふわふわ言葉の木


年長児との交流

ウ　調査部
(ｱ) アンケートの実施、分析
・高久小学校版アンケートの実施、集計、分析
・WEBQU の活用


教職員研修
（外国人児童の対応）

(ｲ) 教職員の人権感覚向上につながる研修等の実施
・外部講師による「性的指向・性自認」「外国人児童の対応」についての講話
・職員会議内でのミニ研修（人権教育チェック）

(ｳ) 学校行事、学校だより、人権だより、ホームページ等を通した啓発活動
・学校だより、人権だより、ホームページ等の作成
・「子供の人権」「インターネットによる人権侵害」をテーマにした保護者対象の研修会の実施
・児童会主催の人権啓発活動


図書委員会による人権に関する本の読み聞かせ動画

○検証・評価・改善・普及

○児童対象の人権に関するアンケートの結果（事前・事後の変容　R7.6→R7.12）

側面	質問項目	結果
知識的側面	人権という言葉を身近に感じますか。	89.8% → 91.7%
価値的・態度的側面	自分のことは好きですか。	88.6% → 90.5%
	自分にはよいところがあると思いますか。	93.2% → 96.4%
技能的側面	自分の気持ちを伝えることはできていますか。	84.1% → 91.7%
	困っている人がいたら、声をかけたり、解決するために行動したりしていますか。	93.2% → 95.2%

＜成果＞

・外国人、高齢者、障害者、災害に伴う人権侵害等の人権問題を取り上げた直接的指導、毎月の人権目標の達成を目指し行った人権チャレンジ等、普段の生活から人権という言葉を取り上げ､実践してきたことが人権という言葉を身近に感じる要因となった。

・学習面や生活面で、互いに認め合う雰囲気づくりを各学年で行ってきたことで、自分のよさに気付き、認めようとする児童が増加した。

・異学年交流や地域の人々との交流を通して、相手の立場に立った思いやりのある言動を心掛けるようになってきた。

・構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを定期的に行ってきたこと、伝え合いや学び合いを生かした授業づくりを行ってきたことで、自分の思いや考えを伝えることができる児童が増加した。

・人権を取り扱った授業実践、人権問題に関する研修等、教職員の研修を充実させたことにより、教師の人権感覚が磨かれ人権意識が高まった。その結果、指導力向上にも繋がった。

＜課題＞

・アンケートで否定的な回答をしている児童は、普段の生活でも気になる言動が見られる児童が多い。
　→教職員で結果を共有し、家庭とも連携しながら、該当児童の困難さや不安に寄り添った支援をしていく。

・様々な実践的な取組を行ってきたことが､児童の人権意識を高める上で本当に効果があったのか、その有効性について検証していく。

【普及】

・１、５、６学年の研究授業は、町内の学校や内地留学生に向けて公開授業とした。

・毎月人権だよりを発行したり､人権に関する実践をホームページで紹介したりするなど、保護者や地域への啓発活動を行ってきた。

・１月に「栃木県教育研究発表大会」において、本研究の発表を行った。
　→委託期間終了後も、全校体制で人権教育を推進し、保護者や地域等へ広く普及・啓発を行っていく。

５．人権教育にかかる年間指導計画

人権教育年間計画

月	月別人権教育目標	推進活動
4	○心の通い合うあいさつをしよう 進んであいさつをし、みんなと仲良くしようとすることができる。	・Ａ－１グランプリ（毎月） ・学級開き ・芭蕉っ子班編制
5	○ルールを守って仲良く活動しよう みんなで協力しながら、仲良く活動することができる。	・芭蕉っ子班遊び（毎月） ・田植え ・さつまいも苗植え（1・2年） ・遠足 ・宿泊学習（４・５年）
6	○友達の話をよく聞いて、自分の気持ちも伝えよう 楽しい学校生活や活動のために、友達と意見を出し合って、折り合いをつけることができる。	◎人権週間（人権標語募集） ・教育相談 ・ふれあい集会 ・フラワータイム
7	○良いと思ったことを進んで実行しよう よく考え、正しく判断し、進んで行動することができる。	・清掃強調月間 ・人権作文募集
8 9	○みんなで励まし合い、協力し合おう めあてをもち、その達成に向けて、励まし合い、協力し合って生活することができる。	・陸上競技記録会 ・スポーツフェスティバル ・ALTとの交流
10	○礼儀正しい言葉づかいで話そう 相手の気持ちを考え、丁寧であたたかい言葉を使って話すことができる。	・稲刈り ・さつまいも堀り（1・2年） ・駅伝競走大会 ・修学旅行
11	○自分の責任をしっかり果たそう 学校生活において一人一人の役割が大切であることを理解して、きちんと取り組むことができる。	・なかよし会（1・2年） ・持久走大会 ・フラワータイム
12	○友達も自分も大切にしよう 身の回りの差別や偏見について考えたり、相手も自分も同じように大切にしようとしたりすることができる。	◎人権週間 ・ワールドメニュー（給食） ・体育集会（大縄跳び） ・学習発表会 ・清掃強調月間
1	○だれとでも仲良くしよう 相手の立場に立って物事を考え、誰に対しても温かい態度で接することができる。	・体育集会（大縄跳び） ・３年生クラブ見学
2	○友達の良いところを認め合おう 友達の良いところや頑張っているところを見付け、認め合いながら生活することができる。	◎命の週間 ・体育集会（大縄跳び） ・６年生を送る会
3	○人やものに感謝の気持ちをもとう 学校生活において、たくさんの人々やものにお世話になったことに気付き、感謝の気持ちをもつことができる。	・清掃強調月間 ・卒業式準備、卒業式 ・修了式

人権教育学年別年間指導計画

高久小学校1年

月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳			はりきりいちねんせい(判・技・実)	めだかの めぐ【障・人】(知・感・実) みんなあかちゃん	げんきでね、あげはくん(感)	じゃんけんぽん(感・実)	となりのジュニーちゃん【外】(知・判)	くりの み【子】(判・技)	はしの 上の おおかみ(判・感・実)			こわの小鳥【子】(技・実)
各教科		国:なんていおうかな(感・技) 国:どうぞよろしく(感・技)	国:はなのみち(感) 音:うたってうごいて みんなでおんがく(感)	国:おおきな かぶ(感)			国:くじらぐも(感) 国:しらせたいな、見せたいな(感・技)		国:たぬきの糸車(感)	体:どうぶつのまね遊び(感)	国:ずうっと、ずっと、大すきだよ(感)	国:いいこといっぱい、一年生(感・実)
生活		いちねんせいがはじまるよ(知・技)	さいてほしいな わたしのはな(感)			いきものと なかよし(感)	年長児との交流会(知・判・感・技・実)	あきと ともだち(感)	みんなのにこにこ大さくせん【人・女】(技・実)		ふゆと ともだち(感)	もうすぐみんな2年生(感・技・実)
		なかよしいっぱい がっこうたんけん(知・判・感・技・実)			なつと ともだち(感)							
特別活動	学級活動	1年生になって(実)		ふれあい集会の学級の出し物を決めよう【高】(判・技・実)		スポーツフェスティバルの種目を決めよう(判・技・実)		なかよし会【高】(判・技・実)			卒業生を送る会の学級の出し物を考えよう(実)	
	児童会活動			ふれあい集会【高】(判・技・実)							感謝の会(感・技) 6年生を送る会(感・技)	
	学校行事		遠足(感・技・実)	入権週間【人】(知・判・感・技・実)		スポーツフェスティバル(技)		校内持久走大会(感)	入権週間【人】(知・判・感・技・実) 学習成果発表会(判・技)		命の週間【人】(知・判)	卒業式(実)
NAiSUタイム	人プロ	クラスのメンバーを知ろう(感・技) 芭蕉っ子班編制(技・実)	バースデーライン(感・技) おはよう名人さよなら名人(技) 風船送り(感・技)	めざせ！マナー名人(技) じゃんけん列車(感・技) だるまさんが○○をしよう(感)	気持ちのサインを送ろう(技・実) セブンじゃんけん(感)	上手な話の聞き方(技・実) 仲間集めゲーム(感・技)	猛獣狩り(感・技)	くまとあなぐら遊びをしよう(感・技)		ほめほめ大作戦(技・実)	どんな気持ちかな(判・技・実)	
	防災学習					那須岳噴火による那須中学校区合同避難訓練、地域連携避難訓練【災】(知・判)						
	プログラミング							復習と振り返り(感・実)				

◎直接的指導 【女】女性 【子】子ども 【高】高齢者 【障】障害者 【同】同和問題 【外】外国人 【H】HIV感染者等 【犯】犯罪被害者等 【イ】インターネットによる人権侵害
【災】災害 【ア】アイヌの人々 【刑】刑を終えて出所した人 【性】性的指向・性同一性障害者 【ホ】ホームレス等 【拉】北朝鮮当局による拉致問題 【人】人権一般
◎育てたい資質・能力等 知…知性 判…判断力 感…感受性 技…技能 実…実践力

人権教育学年別年間指導計画

高久小学校2年

月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳		おとけないすさん【子】(知・感・実)		子だぬき ポン(知・感・実)		ジュニーちゃんのおもてなし【外】(知・感)	竹馬と一輪車(技)		つくえふき【子】(判・感) ごみの木と小鳥(判・技)			
各教科		国:ふきのとう(感)	体:まねっこ遊び(感)	国:スイミー(感)	国:あったらいいな、こんなもの【子・高・障・外】(知・技) 国:ことばであそぼう(知・技)	国:お手紙(感)	国:そうだんにのってください(知・技)			国:すてきなところをつたえよう(感・技) 国:ロボット【高・障】(知)	国:スーホの白い馬(感)	
生活		2年生がはじまるよ(知・技)	おいしいやさいを そだてたい(感)					みんながつかうまちのしせつ もっともっとまちたんけん みんなにつたえよう すてきなまち 【人】(知・判・感・技・実)			広がれ わたし【人・子】(感・実)	
		まちをたんけん 大はっけん【人】(知・判・感・技・実)		生きものと 友だち(感)		あそんで 作って くふうして(感)						
特別活動	学級活動	2年生になって(実)		ふれあい集会の学級の出し物を決めよう【高】(判・技・実)		スポーツフェスティバルの種目を決めよう(判・技・実)		なかよし会【高】(判・技・実)			6年生を送る会の学級の出し物を考えよう(実)	
	児童会活動			ふれあい集会【高】(判・技・実)							感謝の会(感・技) 6年生を送る会(感・技)	
	学校行事		遠足(感・技・実)	入権週間【人】(知・判・感・技・実)		スポーツフェスティバル(技)		校内持久走大会(感)	入権週間【人】(知・判・感・技・実) 学習成果発表会(判・技)		命の週間【人】(知・判)	卒業式(実)
NAiSUタイム	人プロ	あいさつゲーム(感・技) 芭蕉っ子班編制(技・実)	バースデーライン(感・技) みんなでミラー(感) 風船送り(感・技)	そうだねゲーム(技) じゃんけん列車(感・技) いろいろ違って楽しいね(知・判)	上手なごめんなさい(技・実) セブンじゃんけん(感)	上手な話の聞き方(技・実) ナイスフォロー(技・実)	猛獣狩り(感・技)	まちがえないで聴けるかな(技・実)		ていねいにやさしく(技・実)	心の中の鬼を探そう(判・技・実)	
	防災学習					那須岳噴火による那須中学校区合同避難訓練、地域連携避難訓練【災】(知・判)						
	プログラミング							復習と振り返り(感・実)				

◎直接的指導 【女】女性 【子】子ども 【高】高齢者 【障】障害者 【同】同和問題 【外】外国人 【H】HIV感染者等 【犯】犯罪被害者等 【イ】インターネットによる人権侵害
【災】災害 【ア】アイヌの人々 【刑】刑を終えて出所した人 【性】性的指向・性同一性障害者 【ホ】ホームレス等 【拉】北朝鮮当局による拉致問題 【人】人権一般
◎育てたい資質・能力等 知…知性 判…判断力 感…感受性 技…技能 実…実践力

人権教育学年別年間指導計画

高久小学校3年

月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳		あめ玉【人】(判・実)		アメリカから来たサラさん【外】(判・実)	しんぱんは自分たちで【人】(判・技)		心にひびくかねの音【人】(感・技・実)	みんなの学級会【人】(判・感・実)	ぼかぼか言葉【人】(知・判・実)		家のパソコンで【イ】(知・判・技) 思いをこめて【災】(感・知) パラリンピックにねがいをこめて【障】(感・知)	言い出せなくて【人】(判・技・実)
各教科			国:もっと知りたい、友だちのこと(感・実) 社:わたしたちの住んでいる市のようす(知・判・実)	社:わたしたちの住んでいる市のようす(知・判・実)	国:わたしと小鳥とすずと(知・感) 社:工場ではたらく人びとの仕事/店ではたらく人びとの仕事(知・判・実)	国:ちいちゃんのかげおくり(感)	社:店ではたらく人びとの仕事(知・判・実)			国:つたわる言葉で表そう(判・技)	国:モチモチの木(感)	
総合		那須町の自然を学習しよう(知・判・感・技・実)		那須町の歴史について学習しよう(知・判・感・技・実)	那須町の産業を学習しよう(知・判・感・技・実)							
特別活動	学級活動	3年生になって(実)		ふれあい集会の学級の出し物を決めよう【高】(判・技・実)		スポーツフェスティバルの種目を決めよう(判・技・実)					6年生を送る会の学級の出し物を考えよう(実)	
	児童会活動			ふれあい集会【高】(判・技・実)							感謝の会(感・技) 6年生を送る会(感・技)	
	学校行事		遠足(感・技・実)	人権週間【人】(知・判・感・技・実)		スポーツフェスティバル(技)		校内持久走大会(感)	人権週間【人】(知・判・感・技・実) 学習成果発表会(判・技)		命の週間【人】(知・判)	卒業式(実)
NAiSUタイム	人プロ	友達ってあったかいな(判・感) 芭蕉っ子班編制(技・実)	バースデーライン/人間知恵の輪(感・技) あとだしじゃんけん(感) ヘリウムリング(感)	じゃんけん列車(感・技) 伝言ゲーム<ブロック>(感) 知らなかった○○さんのこんな一面(技・実)	ものの言い方(技・実) ○○といえばゲーム(判・技)	伝言ゲーム(感) 話の聞き方スキル(技・実)	セブンじゃんけん(感)	今のわたしの気持ちは何色？(感・実)		猛獣狩り(感・技)	認めてもらえるってうれしいな、素敵だな(判・感・実)	
	防災学習					那須岳噴火による那須中学校区合同避難訓練、地域連携避難訓練【災】(知・判)						
	プログラミング							復習と振り返り(感・実)				

◎直接的指導　【女】女性 【子】子ども 【高】高齢者 【障】障害者 【同】同和問題 【外】外国人 【H】HIV感染者等 【犯】犯罪被害者等 【イ】インターネットによる人権侵害
【災】災害 【ア】アイヌの人々 【刑】刑を終えて出所した人 【性】性的指向・性同一性障害者 【ホ】ホームレス等 【拉】北朝鮮当局による拉致問題 【人】人権一般
◎育てたい資質・能力等　知…知性　判…判断力　感…感受性　技…技能　実…実践力

人権教育学年別年間指導計画

高久小学校4年

月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳		アメリカとの出会い ジョン万次郎のぼうけん【外】(知・判)		心の信号機【障・人】(感・実) 泣いた赤おに【人】(判・感・実)	クラスたいこう全員リレー【人】(感・実)	風かい言葉【人】(知・判) つながっている日本と外国【外】(知・判)		いじめをなくすために【人】(知・判・実) ヘレン・ケラー物語【障】(知・判)				カマキリ【イ・人】(判・感)
各教科		国:白いぼうし(感) 社:わたしたちの県のようす【人】(知・判)	国:思いやりのデザイン【子・高・障・外】(知・感) 社:わたしたちの県のようす(知・判) 社:ごみのしょりと活用(知・感・実)	国:おれの気持ちを伝えよう(感) 国:一つの花(感) 社:ごみのしょりと活用(知・感・実)	社:くらしをささえる水(知・感・実)	国:あなたならどう言う(知・判・感) 社:くらしをささえる水(知・感・実) 社:自然災害から命を守る【災・人】(知・感・実)	国:ごんぎつね(判・感) 国:クラスみんなで決めるには(知・判・感) 社:自然災害から命を守る【災・人】(知・感・実)	国:クラスみんなで決めるには(知・判・感) 体:体の成長とわたし【女・性】(知・判・実)	社:原野に水を引く(知・感) 国:友情のかい数関(判・感) 国:もしものときにそなえよう【災】(知・判・実)	社:伝統的な工業がさかんな地域(知・判・感)		社:世界とつながる地いき【外】(判・実) 国:スワンレイクのほとりで(判・感)
総合		高齢者から学ぼう【高】(知・判・感・技・実)			福祉について考えよう【子・高・障・人】(知・判・感・技・実)							
特別活動	学級活動	4年生になって(実)		ふれあい集会の学級の出し物を決めよう【高】(判・技・実)		スポーツフェスティバルの種目を決めよう(判・技・実)					6年生を送る会の学級の出し物を考えよう(実)	
	児童会活動			ふれあい集会【高】(判・技・実)							感謝の会(感・技) 6年生を送る会(感・技)	
	学校行事		宿泊学習(感・技・実)	人権週間【人】(知・判・感・技・実)		スポーツフェスティバル(技)		校内持久走大会(感)	人権週間【人】(知・判・感・技・実) 学習成果発表会(判・技)		命の週間【人】(知・判)	卒業式(感・実)
NAiSUタイム	人プロ	友達の好みを知ろう(知・判) 芭蕉っ子班編制(技・実)	バースデーライン/人間知恵の輪(感・技) 自分のことを知ってもらおう(感・実) ヘリウムリング(感)	伝言ゲーム(技) 伝言ゲーム<ブロック>(感) 自分の気持ち・みんなの気持ち<宿泊学習>(技・実)	じゃんけん大会(判・技) ○○といえばゲーム(判・技)	話の聞き方スキル(技・実) 上手に聞こう(技・実)	セブンじゃんけん(感)			気持ちの伝え方を知ろう(技)	上手に頼む方法を知ろう(判・技)	
	防災学習					那須岳噴火による那須中学校区合同避難訓練、地域連携避難訓練【災】(知・判)						
	プログラミング										プログラミングスキルの高度な応用と振り返り(感・実)	

◎直接的指導　【女】女性 【子】子ども 【高】高齢者 【障】障害者 【同】同和問題 【外】外国人 【H】HIV感染者等 【犯】犯罪被害者等 【イ】インターネットによる人権侵害
【災】災害 【ア】アイヌの人々 【刑】刑を終えて出所した人 【性】性的指向・性同一性障害者 【ホ】ホームレス等 【拉】北朝鮮当局による拉致問題 【人】人権一般
◎育てたい資質・能力等　知…知性　判…判断力　感…感受性　技…技能　実…実践力

人権教育学年別年間指導計画

高久小学校5年

月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳			すれちがい【人】(判・技)	いじめをなくすために【人】(知・判・実)	うばわれた自由【人】(判)			じひって何だろう【高・障・人】(知・判・実)	アップするの？【イ・人】(判)			世界に目を向けてユニセフ親善大使 黒柳徹子【外】(知)
各教科			社:さまざまな土地のくらし(知・判)	国:みんなが使いやすいデザイン【高・障・人】(知・判) 体:こころの健康(技)		国:たずねびと(感) 社:これからの食料生産【外】(実)	社:くらしや産業を支える工業生産(感)	社:これからの工業生産【外】(実)	国:やなせたかしーアンパンマンの勇気(感) 社:情報をつくり、伝える【イ・人】(知・判)	国:想像力のスイッチを入れよう【イ】(知・判) 社:情報社会に生きるわたしたち【イ】(判)	国:もう一つの物語(技) 国:言葉を使い分けよう(知)	国:大造じいさんとガン(感) 社:環境とわたしたちのくらし(実)
総合		地域の環境(知・判・感・技・実)		日本の環境(知・判・感・技・実)		自分にできる地球環境の守り方【外】(知・判・感・技・実)						
特別活動	学級活動	5年生になって(実)	ふれあい集会の学級の出し物を決めよう【高】(判・技・実)			スポーツフェスティバルの種目を決めよう(判・技・実)				薬物乱用と健康(判)	命を大切に(実) 6年生を送る会の学級の出し物を考えよう(実)	
	児童会活動			ふれあい集会【高】(判・技・実)							感謝の会(感・技) 6年生を送る会(感・技)	
	学校行事		宿泊学習(感・技・実)	人権週間【人】(知・判・感・技・実)		スポーツフェスティバル(技)		校内持久走大会(感)	人権週間【人】(知・判・感・技・実) 学習成果発表会(判・技)		命の週間【人】(知・判)	卒業式(感・実)
NAiSUタイム	人プロ	自分のことを知ってもらおう(知・技) 芭蕉っ子班編制(技・実)	バースデーライン/人間知恵の輪(感) 自分の気持ち・相手の気持ち(感・実) 手拍子チームワーク(感)	気持ちの伝え方を知ろう(技) 何でもバスケット(感) 自分の気持ち・みんなの気持ち＜宿泊学習＞(技・実)	いろいろ違って楽しいね(知・判) 部首で探せ・伝言お絵かき(感)	だるまさんが〇〇しよう(感) 肩たたきトーキング(感・技)	後出しじゃんけん(感)			こっそりちょっとボランティア(判・実)	上手に話を聞けるかな(技)	
	防災学習					那須岳噴火による那須中学校区合同避難訓練、地域連携避難訓練【災】(知・判)						
	プログラミング										プログラミングスキルの振り返りと発展(感・実)	

◎直接的指導　【女】女性　【子】子ども　【高】高齢者　【障】障害者　【同】同和問題　【外】外国人　【H】HIV感染者等　【犯】犯罪被害者等　【イ】インターネットによる人権侵害
【災】災害　【ア】アイヌの人々　【刑】刑を終えて出所した人　【性】性的指向・性同一性障害者　【ホ】ホームレス等　【拉】北朝鮮当局による拉致問題　【人】人権一般
◎育てたい資質・能力等　知…知性　判…判断力　感…感受性　技…技能　実…実践力

人権教育学年別年間指導計画

高久小学校6年

月		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳			マザー・テレサ【人】(感・技)	どれい解放の父 リンカン【人】(知・感)		ロレンゾの友達【人】(判・技)		会話のゆくえ【イ・人】(判・技)	ブランコ乗りとピエロ【人】(判・技)			
各教科		国:帰り道(感) 社:日本国憲法と政治のしくみ【人】(知・判)	社:わたしたちの輝いと政治のはたらき【人】(知・判)	体:病気の予防【H】(知・判) 外:Where do you want to go?【外】(知)		国:やまなし(感)	国:みんなで楽しく過ごすために(技) 社:武士による政治の安定【同】(知・判) 外:Where do you want to go?【外】(知)	社:江戸の社会と文化・学問【同】(知・判) 社:明治の新しい国づくり【女・同・ア】(知・判)	国:百貨「稲山伏」を楽しもう(感) 社:国力の充実をめざす日本と国際社会【人】(知・感)	社:アジア・太平洋に広がる戦争【人】(知・判)	社:日本とつながりの深い国々【外】(知・判) 国:今、私は、ぼくは(判)	国:海の命(感) 社:世界がかかえる問題と日本の役割【外・人】(知・判・実) 家:あなたは家庭や地域の宝物(感)
総合		私たちにできること(知・判・感・技・実)						日本から世界へ【外】(知・判・感・技・実)		12歳の私を振り返ろう(知・判・感・技・実)		
特別活動	学級活動	6年生になって(実)		ふれあい集会の学級の出し物を決めよう【高】(判・技・実)		スポーツフェスティバルの種目を決めよう(判・技・実)				薬物乱用と健康【判】(判) 生命誕生(実)	6年間お世話になった方に感謝の気持ちを伝えよう(実)	卒業式への参加(感・実)
	児童会活動			ふれあい集会【高】(判・技・実)							感謝の会(感・技) 6年生を送る会(感・技)	
	学校行事			人権週間【人】(知・判・感・技・実)		スポーツフェスティバル(技)	修学旅行(感・技・実)	校内持久走大会(感)	人権週間【人】(知・判・感・技・実) 学習成果発表会(判・技)		命の週間【人】(知・判)	卒業式(感・実)
NAiSUタイム	人プロ	似ているところをみつけよう(知・技) 芭蕉っ子班編制(技・実)	バースデーライン/人間知恵の輪(感) 他己紹介(知・技) 手拍子チームワーク(感)	相手がもっと話したくなる聴き方(技) 何でもバスケット(感) もっと上手に話を聞けるかな(技・実)	きわやかさんで伝える(知・技) 部首で探せ・伝言お絵かき(感)	むとむの握手/怒りを静める4つの魔法(判・技) トラストアップ(感)	後出しじゃんけん(感)	気持ちの伝え方を知ろう＜修学旅行＞【外】(感・実)		後出しじゃんけん/ストレスのしくみ(判・実)	怒りの気持ちと仲良くなろう(判・技)	
	防災学習					那須岳噴火による那須中学校区合同避難訓練、地域連携避難訓練【災】(知・判)						
	プログラミング										プログラミングスキルの振り返りと発展【イ】(感・実)	

◎直接的指導　【女】女性　【子】子ども　【高】高齢者　【障】障害者　【同】同和問題　【外】外国人　【H】HIV感染者等　【犯】犯罪被害者等　【イ】インターネットによる人権侵害
【災】災害　【ア】アイヌの人々　【刑】刑を終えて出所した人　【性】性的指向・性同一性障害者　【ホ】ホームレス等　【拉】北朝鮮当局による拉致問題　【人】人権一般
◎育てたい資質・能力等　知…知性　判…判断力　感…感受性　技…技能　実…実践力

６．推進体制（都道府県・指定都市教育委員会等を含む）

